

1 義務教育等

施策の基本的考え方

- 質の高い幼児教育を推進するため、教職員の資質・能力の向上に努めるとともに、保護者負担の軽減を図ります。
- 児童・生徒に確かな学力を身に付けさせるため、基礎的基本的な学習内容の定着、学力の向上、教職員の指導力の向上などを図ります。
- 新しい時代を担う子どもたちが、豊かな感性とたくましい行動力を持ち、互いの良さを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身ともに健康な児童・生徒の育成を図るため、甲府の子どもの教育の推進、生きる力の育成、生徒指導の充実、体験的学習の推進、国際理解教育の推進などに取り組めます。
- 児童・生徒の心身の健全な発育のため、健康安全教育の充実と保健管理の徹底、環境衛生の維持・改善及び学校給食の充実等を図ります。
- 児童・生徒の登下校時のみならず、安全で安心な学校生活を送れるよう、家庭・地域・関係機関との連携を密にし、防犯・防災に努めます。
- 児童・生徒が心身共に健全で安心した学校生活を送れるよう、教育施設の耐震化の整備、環境に配慮した施設の整備、学校体育施設の整備、学校給食施設の整備など教育施設の充実に努めます。
- 小・中学校のコンピュータ関連機器の整備に努めるとともに、新学習指導要領*に基づく教材の整備・充実に努めます。
- 適正な学校規模を確保し、児童が、等しく学ぶことができる教育環境の整備・充実に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
義務教育等 01	01 幼児教育の充実	01 幼稚園就園奨励事業
		02 幼児教育振興事業
	02 教育内容の充実（確かな学力）	01 小学校英語活動推進事業
		02 外国人講師による英語指導事業（中）
		03 きめ細かな教育推進事業
		04 教材・情報環境整備事業（小） ^{（再掲）}
		05 教材・情報環境整備事業（中） ^{（再掲）}
	03 教育内容の充実（豊かな心）	01 新しい時代を担う人づくり基金事業
	04 教育内容の充実（健やかな体）	01 学校給食事業（小）
		02 学校給食事業（中）
		03 冷暖房機整備事業（中） ^{（再掲）}
	05 安全な教育環境の整備	01 学校防犯対策事業
	06 学校施設等の整備	01 小学校校舎整備拡充事業
		02 中学校校舎整備拡充事業
		03 小学校プール建設事業
		04 小学校給食室整備拡充事業
		05 冷暖房機整備事業（中）
	07 教材及び教育環境の整備・充実	01 教材・情報環境整備事業（小）
		02 教材・情報環境整備事業（中）
	08 小学校の適正規模化の推進	01 小学校適正規模化推進事業
		02 きめ細かな教育推進事業 ^{（再掲）}

01 幼児教育の充実

■幼稚園就園奨励事業 【事業No.02010101】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237-5669
			保育係		

事業概要

- 保護者の家庭の所得と園児数に応じて保育料を減免している幼稚園に助成し、保護者の経済的負担を軽減することにより、子育て支援事業の推進と幼児教育の振興を図る。

現況と課題

- 減免額は保護者の所得により決定されるが、園児を取り巻く家族の生活実態が多様化しており、国の基準改定等に伴う基準の細分化による影響で提出書類だけでは確認が困難な世帯が増加しているため、所得状況の確認作業が煩雑化している。

今後の事業展開

- 県内の他市でも少子化を反映して制度の充実がみられる中、本市においても国の定めた補助限度額を基に本市の基準を設定し算定している。県内他市と比較しても充実しており、市民の期待感も高いことから、今後も広報誌等により制度のPRに努め予算の範囲内で単価設定を行い継続推進していく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
園児1人当たりの助成率 (%)	24	25	29	34	34	34	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	112,548		139,836	167,124	167,124	474,084	

■幼児教育振興事業 【事業No.02010102】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237-5669
			保育係		

事業概要

- 各私立幼稚園が実施する教職員研修、預かり保育事業*及び地域活動事業に対して助成を行う。また、私立幼稚園協会の教職員研修についても一部助成を行うことにより、幼児教育の振興と子育て支援の推進を図る。

現況と課題

- 教職員研修事業については、全ての私立幼稚園で実施しているが、預かり保育事業及び地域活動事業については、一部実施していない幼稚園がある。

今後の事業展開

- 幼稚園がもつ子育て支援機能を活用することにより、地域の子育て環境の整備を図ることを目的としているため、預かり保育事業及び地域活動事業に全ての私立幼稚園が取り込むよう要請していく。
- 幼稚園では定員割れが著しく、国でも幼保一体化を唱え平成18年10月には「認定子ども園」が施行となったが、平成19年度及び平成20年度に実施する園はなかった。今後も、国・県及び各幼稚園の動向を見ながら適切な対応を図っていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
① 教職員研修事業実施率							
② 預かり保育事業実施率	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100
③ 地域活動事業実施率 (%)	② 92	② 96	② 100	② 100	② 100	② 100	② 100
	③ 77	③ 77	③ 100	③ 100	③ 100	③ 100	③ 100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	9,293		9,793	9,293	9,293	28,379	

02 教育内容の充実（確かな学力）

■小学校英語活動推進事業 【事業No.02010201】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

●新学習指導要領による、小学校5、6年生で実施される外国語活動のねらいである「外国語活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、その音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、中・高等学校等における外国語科の学習につながるコミュニケーション能力の素地を養う」ために、ネイティブスピーカーの活用を図る。また、1年生から4年生においても、児童が外国語に触れたり外国の生活や文化に慣れ親しむ活動などを行ったりする中で、異なる文化に関心を持たせ国際理解教育の充実を図る。

現況と課題

●新学習指導要領の小学校外国語活動に対応するために、外国人英語講師を4名体制とした。外国人英語講師を4名体制にすることにより、5・6年生の各学級に年間の実施時間の半分程度、1年生から4年生にも年間に数回ネイティブスピーカーを配置することが可能となる。

今後の事業展開

●実施計画の確実な推進の中で、外国語を通じて、言語や文化について体験的な理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーションの素地を養う。さらに小学校における国際理解教育の充実を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値合計 (H23～25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
英語指導を受ける市立小学生 (人)	9,347	9,286	9,195	9,149	9,085	27,429
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	15,707		20,873	20,873	20,873	

■外国人講師による英語指導事業（中学校） 【事業No.02010202】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

●生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた生徒の育成を図るため、実践的な英語指導を行う。

現況と課題

●「聞く」「話す」を中心とした実践的な指導や「基礎」「基本」の着実な定着、発展的な学習への取り組みの充実を図るうえから、外国人英語講師の採用数の増も今後検討していく必要がある。

今後の事業展開

●実施計画の確実な推進の中で、生徒の確実な基礎・基本の習得と発展的な学習の推進を図る。中学校より、本格的な英語教育が開始されるため、英語の指導法がより重要となる。姉妹都市ドメイン市で子供に指導していた経験のある教師が指導することによって、より子供たちに体系的に英語を学ばせることができるため、今後も継続して姉妹都市ドメイン市からの現役教師の招聘としていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値合計 (H23～25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
英語指導を受ける市立中学生 (人)	4,553	4,640	4,598	4,569	4,612	13,779
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	34,446		34,584	34,584	34,584	

■きめ細かな教育推進事業 【事業No.02010203】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			教職員係		

事業概要

●甲府市立学校においては、少子化や地域性から児童数の減少により、複式学級編制を余儀なくされた小学校、南部地域における小学校の大規模化、外国籍児童が多く日本語や学習内容の理解が困難な教育環境にある学校などに、児童に対して、きめ細かな指導や適切な教育的配慮の必要性から、臨時的教職員を配置し教育の安定化を図る中で、特色ある学校づくりに努める。

現況と課題

●千代田小学校の複式学級編制解消と大國・大里・山城小学校の南部3校の大規模校及び外国籍児童が多く日本語や学習内容の理解が困難な教育環境にある新田小学校については、継続的に臨時的教職員の配置が必要である。また、以外の小中学校においても子どもたちの授業充実や学習基盤、生活基盤の指導などにおいて、きめ細かな学習指導を効果的に推進するために特別な人的配置が必要な状況のある学校に臨時的任用する教職員の配置が必要である。

今後の事業展開

●学校運営上特別な事情が生じた場合にきめ細かな学習指導を効果的に推進するため、特別な人的配置が必要な状況にある学校にきめ細かな指導や適切な教育的配慮の必要性から、臨時的教職員を配置し教育の安定化を図る中で、特色ある学校づくりに努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23～25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	16,295		19,158	16,421	16,421	

■教材・情報環境整備事業（小学校） 【事業No.02010204←No.02010701】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

■教材・情報環境整備事業（中学校） 【事業No.02010205←No.02010702】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

03 教育内容の充実（豊かな心）

■新しい時代を担う人づくり基金事業 【事業No.02010301】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

- 新しい時代を担う人づくりを目指して、「甲府の教育」の全体像を構築し、たくましい身体と思い遣りの心を育み、創造性豊かな人づくりに資するために、調査・研究及び検討し、その推進を図ることを目的としている。

現況と課題

- 海外研修派遣は、姉妹都市デモイン市と友好都市成都市へ派遣している。成都市との交流は5年サイクルにおいて、相互交流を行う協定が交わされており、デモイン市との教育交流については、平成23年度より、ホームステイによる受入事業を計画している。「甲府市とデモイン市における両市の学校関係者及び青少年等を対象とした相互の友好的な教育交流を図るため、両市が積極的に短期留学等の機会を与える。」と基本的事項は定められているが、経費負担及び受入人数や日数等の協定書を交わし、平等互恵の原則に基づき相互教育交流事業を行っていく。

今後の事業展開

- 姉妹友好都市への派遣は、子どもたちが海外の状況に触れることにより、基金の趣旨である異なる民族や文化を尊重し、「思い遣る心」が醸成される。また、生徒による還流報告を充実させることにより、他の生徒も自分たちと異なる文化を持つ人々への知識や関心を得ることができる。
新規事業として姉妹都市デモイン市から児童生徒の受入事業を行うため、より多くの児童生徒を対象とした教育交流が図られる。今後デモイン市とも受入の協定を結び、相互教育交流として事業効果を高めていく。
なでしこ賞（撫子賞）については、児童生徒の「思い遣る心」の醸成からも継続していくこととする。さらに、甲府の子どもの教育の中核である「思い遣る心」を育てるため、研究指定校を設け、家庭・地域と連携した特色ある学校づくりを推進していく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値合計 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	
① 海外研修派遣中学生数								
② 海外研修派遣甲府商業高校生数								
③ なでしこ(撫子)賞受賞小中学生数及び甲府商業高校生数 (人)	① 0	① 22	① 22	① 22	① 22	① 22	① 22	① 22
	② 0	② 2	② 2	② 2	② 2	② 2	② 2	② 2
	③ 266	③ 250	③ 250	③ 250	③ 250	③ 250	③ 250	③ 250
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)		
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
	6,864		10,694	9,318	9,318	29,330		

04 教育内容の充実（健やかな体）

■学校給食事業（小学校） 【事業No.02010401】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

事業概要

●教育活動の一環として、子どもたちの食生活・食教育に対する指導を行い、正しい食事マナー、健康的な食習慣・食生活等を身につけることができるよう児童に提供する安全な食材を確保する中で、給食内容を充実する。

現況と課題

●給食施設の老朽化、正規職員の定年退職による調理員の確保、衛生管理に対する指導の徹底などの課題とともに、地場農産物の給食への活用には、品質規格の均一性、必要量の確保等の課題がある。
また、限られた給食費の範囲での給食実施が責務である中で、一層経済的な面からの安全で安心かつ充実した給食運営の継続が課題となっている。

今後の事業展開

●平成21年度に決定した委託化計画に基づき、安全性を確保するなかで、給食調理業務の年次的な第三者委託を行う。なお、他校での円滑な委託の導入を図るため、第三者委託を行った大里小学校の課題等を検証し、学校関係者、保護者、受託業者等と定期的な協議を行う。また、学校教育の一環としての学校給食の意義を踏まえ、衛生管理の徹底はもとより地産地消の推進をはじめとする学校給食の充実を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値	
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値(H21~25)	
県内農産物を使用した品目割合(%)	34.1	32	33	34	35	35	
事業費(千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計(H23~25)	
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	243,430		270,842	441,545	427,771	1,140,158	

■学校給食事業（中学校） 【事業No.02010402】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

事業概要

●生徒に提供する給食内容を充実し、安全な食材の確保とともに、教育活動の一環として、子どもたちの食生活・食教育に対する指導を行い、正しい食事マナー、健康的な食習慣・食生活等を身につけることができるよう生徒に提供する安全な食材を確保する中で、給食内容を充実する。

現況と課題

●生徒の食に対する嗜好の多様化などにより、食べ残しが課題としてあげられ、栄養バランスに配慮しつつも、生徒が食べやすい献立による給食の提供に努めるとともに、調理業者への衛生管理指導の徹底を図っていく必要がある。
また、限られた給食費の範囲での給食実施が責務である中で、一層経済的な面からの安全で安心かつ充実した給食運営の継続が課題となっている。

今後の事業展開

●平成21年度に決定した内容に従い、平成22年度の4校の食缶方式試行を踏まえ、平成23年度には全校で食缶方式を実施する。なお、食缶方式の導入に伴い、授業時間など学校運営に影響することから、学校関係者等で構成する「中学校給食業務運営研究会」を設置し、課題等の協議を定期的に行う。また、給食調理業者への衛生管理指導を徹底するとともに、学校教育の一環としての学校給食の意義を踏まえ、産地表示や地産地消の推進をはじめとする学校給食の充実を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値	
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値(H23~25)	
県内農産物を使用した品目割合(%)	38.5	38.0	39.0	40.0	40.0	40.0	
事業費(千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計(H23~25)	
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	231,925		180,850	180,940	183,033	544,823	

■冷暖房機整備事業（中学校） 【事業No.02010403←No.02010605】再掲	担当部課係名	教育部	学事課 学事係	ダイリン	223- 7322
---	--------	-----	------------	------	--------------

05 安全な教育環境の整備

■学校防犯対策事業 【事業No.02010501】	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課	ダイヤル	223-7322
			学事係・学務係		

事業概要

●全国的に学校の教育現場において、悲惨な事件等が起きる現状の中で、事件の未然の防止、及び緊急避難対策等の強化を図る。

現況と課題

●学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、子どもたちが安心して教育を受けられるよう、マメルメールへの登録を促すとともに、人的（学校安全ボランティア等の協力）な巡視等の強化が必要。また、スクールガード（学校安全ボランティア）等との連携を図り、地域力を生かし、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心な学校を確立するため、効率・効果的な組織体制の整備を要する。

今後の事業展開

●学校施設内への不審者侵入等に対する効果的な防備手法を検討するとともに、マメルメールや防犯ブザーの有効活用に向けた周知を図る。また、安全・安心な学校生活が送れるよう、引き続きスクールガードをはじめ、関係者間の連携を強化し、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制の整備を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
全小学生に対する防犯ブザーの配布割合(%)	平成 21 年度 100	平成 22 年度 100	平成 23 年度 100	平成 24 年度 100	平成 25 年度 100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	5,295		1,662	1,684	1,657	

06 学校施設等の整備

■小学校校舎整備拡充事業 【事業No.02010601】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤル	237-5862
			建築係		

事業概要

●学校施設は、地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その耐震性能の向上を積極的に図るとともに、併せて教育環境の整備と充実を目指していく。

現況と課題

- 改築校における仮設校舎での学習環境の低下
- 仮設校舎による屋外運動場の利用制限

今後の事業展開

●小学校校舎の耐震補強及び建替えについては、児童生徒の安全確保と教育環境の向上及び地域住民の応急避難場所としての役割を目指し、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
校舎の建替え率(%) (耐震補強工事を含む)	平成 21 年度 66	平成 22 年度 83	平成 23 年度 100	平成 24 年度 —	平成 25 年度 —	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	1,656,407		2,278,636	—	—	

■中学校校舎整備拡充事業 【事業No.02010602】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	タイム	237-5862
			建築係		

事業概要

- 学校施設は、地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その耐震性能の向上を積極的に図るとともに、併せて教育環境の整備と充実を目指していく。

現況と課題

- 改築校における仮設校舎での学習環境の低下
- 仮設校舎による屋外運動場の利用制限

今後の事業展開

- 中学校校舎の耐震補強及び建替えについては、児童生徒の安全確保と教育環境の向上及び地域住民の応急避難場所としての役割を目指し、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
校舎の建替え率(%) (耐震補強工事を含む)	0	50	100	—	—	100	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	428,148		521,829	—	—	521,829	

■小学校プール建設事業 【事業No.02010603】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	タイム	237-5862
			建築係		

事業概要

- 北新三団地と北新小学校の一体的な整備を図ることから、既存プールを移築して教育環境の充実を目指す。

現況と課題

- 改築工事中における学習環境の低下

今後の事業展開

- 体育施設の整備を促進し、学校教育の円滑な実施並びにスポーツの振興に寄与するように、年次的な改修計画を策定する必要がある。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
建替え率(%)	—	0	100	—	—	100	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	3,249		99,520	—	—	99,520	

■小学校給食室整備事業 【事業No.02010604】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	タイム	237-5862
			建築係		

事業概要

- 学校給食施設のドライ化、ドライ運用に伴う衛生管理の充実を図り、安全で安心な学校給食を児童に提供する。

現況と課題

- 改築工事中における学習環境の低下

今後の事業展開

- 学校給食施設の整備を促進し、安全な学校給食の実施を図るように、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
給食室整備達成率 (%)	—	0	14	38	66	66
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	25,988		15,624	597,246	668,819	

■冷暖房機整備事業（中学校） 【事業No.02010605】	担当部課係名	教育部	学事課	タイム	223-7322
			学事係		

事業概要

- 地球温暖化等による気温の著しい変化が見られる中で、良好な教育環境（学習環境、職場環境）の整備と確保が求められており、普通教室・特別教室及び校長室・職員室へ冷暖房機（エアコン）を年次的に整備していく。

現況と課題

- 整備完了までの良好な教育環境の確保
- 運用開始に伴うランニングコスト等の節減

今後の事業展開

- 良好な教育環境の確保に向け、可能な限り早期の整備に取り組むとともに、最大限地球環境に配慮した冷暖房機の使用が図られるよう運用についてガイドラインを整備し、徹底する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
冷暖房機整備達成率 (%)	—	—	—	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	—		6,384	448,041	—	

07 教材及び教育環境の整備・充実

■教材・情報環境整備事業（小学校） 【事業No.02010701】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 新学習指導要領に基づき、授業に必要な教材・教具の整備、充実を図るとともに、コンピュータ機器及び教育用コンテンツの活用等による情報教育環境を整備する。

現況と課題

- 各学校の大型・特殊教材教具（実験用机・調理用机・グランドピアノ等）は老朽化しており、通常の整備費のなかでの更新が困難な状況にあるため、年次的整備のための予算確保が求められる。

今後の事業展開

- 「甲府市標準教材」に基づき、特色ある教育を実践するための教材教具の整備を計画的に行う。
情報セキュリティー対策の充実を図る中で、平成23年度には小学校2校のコンピュータ教室80台の入れ替えを行うとともに、リースアップ機器を活用した再配置整備を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
コンピュータ1台を使用できる児童の割合(各教室別) (%)	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	90,278		87,973	90,473	92,973	

■教材・情報環境整備事業（中学校） 【事業No.02010702】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 新学習指導要領に基づき、授業に必要な教材・教具の整備、充実を図るとともに、コンピュータ機器及び教育用コンテンツの活用等による情報教育環境を整備する。

現況と課題

- 各学校の大型・特殊教材教具（実験用机・調理用机・グランドピアノ等）は老朽化しており、通常の整備費のなかでの更新が困難な状況にあるため、年次的整備のための予算確保が求められる。

今後の事業展開

- 「甲府市標準教材」に基づき、特色ある教育を実践するための教材教具の整備を計画的に行う。
情報セキュリティー対策の充実を図る中で、平成23年度には中学校6校のコンピュータ教室246台の入れ替えを行うとともに、リースアップ機器を活用した再配置整備を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
コンピュータ1台を使用できる生徒の割合(各教室別) (%)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	45,988		46,672	47,772	48,872	

08 小学校の適正規模化の推進

■小学校適正規模化推進事業 【事業No.02010801】	担当部課係名	教育部	総務課	ダイヤル	223-7320
			学校規模適正係		

事業概要

- 適正な学校規模を確保し、学校間格差の解消を図り、甲府の子ども達すべてが、等しく学ぶことのできる教育環境の整備充実を図る。

現況と課題

- 富士川小・琢美小の統合に係る善誘館小学校開校に全力で取り組み、完了させることで、平成16年策定の小学校適正規模化の基本方針は、終結とするが、今後も児童・生徒数の推移を十分把握するとともに、国や県の動向に対応した全市的な適正規模・適正配置の新たな方針策定のための準備を行う必要がある。また、総論では概ね市民の理解が得られているものの、各論レベルになると地域間における温度差や未だ慎重論が見受けられる。事業推進に当たっては、地区住民の理解と協力が不可欠であり、適正規模化にかかる機運の醸成は常に必要である。

今後の事業展開

- 富士川小学校及び琢美小学校については、善誘館小学校開校に全力で取り組み、完了させることで、平成16年策定の小学校適正規模化の基本方針は終結とするが、少子化に伴う小規模校化や地域開発などに伴う大規模校化については、今後も児童・生徒数の推移を十分把握するとともに、国や県の動向に対応した全市的な適正規模・適正配置の新たな方針策定について準備を行う。
(「小学校適正規模化の基本方針に係る総括及び今後の方向性について(平成22年3月作成)」)

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	2,962		1,565	2,202	1,202	

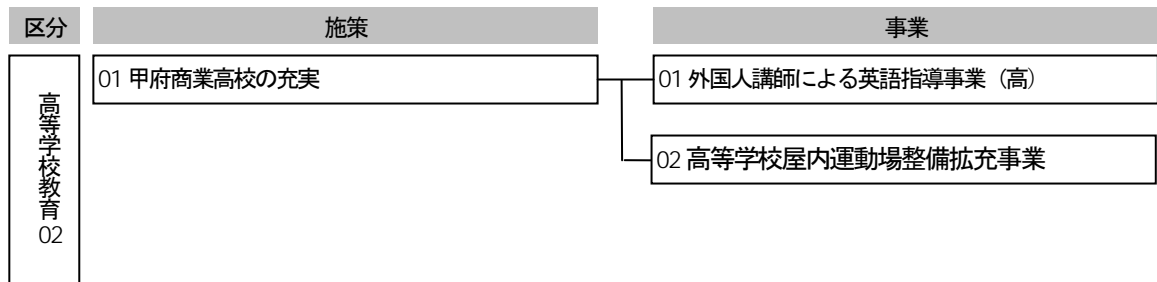
■きめ細かな教育推進事業 【事業No.02010802←No.02010203】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			教職員係		

2 高等学校教育

施策の基本的考え方

- 甲府商業高校の特色である情報処理に関する研究・教育並びに施設整備の充実を図り、各種資格取得のできる学習の展開を図るとともに、教職員資質の向上にも努めます。

施策・事業の体系



01 甲府商業高校の充実

■外国人講師による英語指導事業（高等学校） 【事業No.02020101】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

- 生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図るため、実践的な英語指導を行う。

現況と課題

- 「聞く」「話す」を中心とした実践的な指導や「基礎」「基本」の着実な定着、発展的な学習への取り組みの充実を図るうえから、より、積極的な外国人英語講師の活用が必要である。

今後の事業展開

- 実施計画の確実な推進の中で、生徒の確実な基礎・基本の習得と発展的な学習の推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
英語指導を受ける 市立甲府商業高校生 (人)	833	841	840	840	840	2,520
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	5,199		5,219	5,219	5,219	

■高等学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.02020102】	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤル	237-5862
			建築係		

事業概要

- 屋内運動場は、地震発生時に生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その耐震性能の向上を積極的に図るとともに、併せて教育環境の整備と充実を目指していく。

現況と課題

- 教育活動及び社会開放における、工事期間中の代替施設の確保

今後の事業展開

- 高等学校屋内運動場の耐震補強及び建替えについては、生徒の安全確保と教育環境の向上及び地域住民の応急避難場所としての役割を目指し、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
屋内運動場の耐震化率(%) (耐震補強工事を含む)	—	0	100	—	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	15,843		608,383	—	—	

3 大学教育等

施策の基本的考え方

- 全国でも数少ない、公立の商業実務系専門学校である本校の特色を生かせるよう、学科の充実、開放講座の推進、学校間連携教育の推進、国際交流の推進など学校改革に取り組みます。
- 市内高等教育機関の学部・学科の充実等の要請を行うとともに、就学の支援に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
大学教育等 03	01 甲府商科専門学校の充実	
	02 教育内容の充実と就学支援	01 入学準備金融資事業

02 教育内容の充実と就学支援

■入学準備金融事業 【事業No.02030201】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 教育の振興に資することを目的として、大学・大学院及び専修学校の専門課程並びに高等学校等に入学する者の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対して、必要な資金を融資し、もって教育の振興に資することを目的とする。

現況と課題

- 現在の社会情勢（格差の拡大や母子世帯の増加等）を反映し、市民ニーズとしては、依然と高いものがあるが、金融機関が直接融資することから、金融機関の信用調査のハードルが高く、申し込み件数に応じた融資件数の増加が期待するほどない。（H21実績申し込み件数 62 件・融資実行件数 23 件）
また、返済の据置期間の延長も金融機関の了承が得られない。

今後の事業展開

- 所得格差が拡大する社会状況の中、本制度の融資申し込み者数は、融資利率の見直し（引下げ）を行ったことで、増加傾向にある。こうしたことから、事業継続の必要性はあると考えるが、経済的困窮者への融資制度として目的達成度をさらに高めるため、事業内容等の検証を行い、本市の類似事業との統合を含め、より利用しやすい制度となるよう再検討する中で、事業を推進する。なお、平成 23 年度には利用者の利便性を高めるため、償還期間延長の導入を検討する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23～25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
融資件数 (件)	23	20	20	20	20	60
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	38,436		44,385	54,219	61,819	160,423

4 生涯学習

施策の基本的考え方

- 生涯学習*社会の実現を図るため、「生涯学習都市宣言」の精神を基調にしながら生涯学習のまちづくりに向けた施策の充実に努めます。
- 社会教育施設としての総合市民会館、各公民館等の利用促進と市民の「まなびネットワーク」の推進に努めます。
- 生涯学習の拠点として、蔵書資料の充実を図りながら、良質な市民サービスの提供に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生涯学習 04	01 生涯学習の推進	01 生涯学習振興事業
	02 図書館の充実	01 蔵書整備事業

01 生涯学習の推進

■生涯学習振興事業 【事業No.02040101】	担当部課係名	教育部	生涯学習課	ダイヤル	223-7323
			生涯学習係		

事業概要

●総合市民会館及び各公民館等の利用促進を通じて、市民の生涯学習意識の高揚を図り、生涯学習社会の実現に向けた事業を推進する。

現況と課題

●魅力ある生涯学習事業を推進するにあたっては、時代に即した斬新なアイデアと柔軟な発想力が必要とされる。

今後の事業展開

●生涯学習推進のまちづくりに向けて、市民ニーズの把握をはじめ、新たな「まなびネットワーク」の構築により、生涯学習のまちづくりにかかる取り組みを拡大・強化する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
生涯学習フェスティバル延べ参加者数(人)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	48,000
	15,674	16,000	16,000	16,000	16,000	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	2,746		6,000	6,000	6,000	

02 図書館の充実

■蔵書整備事業 【事業No.02040201】	担当部課係名	教育部	図書館	(外線)	235-1427
			管理係		

事業概要

●一般公衆の利用に供し、その文化・教養・調査研究・趣味・娯楽等に資する資料を収集、整理、保存する。ニーズが高く、資料価値のある資料の収集保存を行い、利用者の拡充と利用頻度を高めることを目指している。

現況と課題

●利用者のニーズに応えたものや資料的価値の高いものの収集、また館としての独自性や特色を打出すための資料収集が課題である。

今後の事業展開

●一般公衆の利用に供し、その文化・教養・調査研究・趣味・娯楽等に資する資料の収集のための資料費を、類似都市の公立図書館資料費や日本図書館協会が策定した資料費基準などに基づき、拡大する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
資料貸出数 (点)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	1,954,500
	650,402	650,500	651,000	651,500	652,000	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	22,000		22,000	22,000	22,000	

5 スポーツ・レクリエーション

施策の基本的考え方

- だれもがいつでも身近にスポーツに親しみ、市民一人ひとりが生涯にわたって健康で活力に満ちた社会の実現を目指すため、指導者の育成・確保に努めながらニュースポーツ*の普及等の機会や情報の提供にも努めます。
- 市民スポーツの活動拠点として良好な環境を提供するため、各施設の機能整備に努めます。また、身近な運動施設として学校体育施設についても積極的に社会開放し、施設の効率的な活用を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
スポーツ・レクリエーション 05	01 生涯スポーツの推進	01 学校開放管理事業
	02 施設の整備	01 各種スポーツ施設管理事業

01 生涯スポーツの推進

■学校開放管理事業 【事業No.02050101】	担当部課係名	教育部	スポーツ振興課	ダイヤル	223-7325
			スポーツ振興係		

事業概要

- 一般市民が身近に利用できるスポーツ活動の拠点として、市立の学校体育施設を学校教育に支障のない限り開放し、市民の健康増進とスポーツの定着化を図る。

現況と課題

- 各開放校における、社会体育施設の老朽化に伴う整備・改修等への対応。

今後の事業展開

- 地域住民がスポーツ活動を行うにあたり、身近な施設として学校体育施設の果たす役割は大きく、さらなる使用料の確保に努める中で、施設の改修計画に基づき年次的な整備を行う。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23～25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
施設利用件数の増加率(%) <small>(当年延べ利用件数/前年度延べ利用件数)</small>	-3.33	7.81	7.81	7.81	7.81	7.81	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)		計画額合計 (H23～25)		
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	27,696		32,908	24,298	24,298	81,504	

02 施設の整備

■各種スポーツ施設管理事業 【事業No.02050201】	担当部課係名	教育部	スポーツ振興課	ダイヤル	223-7325
			スポーツ振興係		

事業概要

- スポーツ施設の整備を行うことにより、スポーツレベルの向上及び健康・体力の維持増進や豊かなコミュニティづくりを図り、市民の間に生涯スポーツを普及する。

現況と課題

- 都市基幹公園(運動公園)としての緑が丘スポーツ公園の整備及び各施設の老朽化への対応。

今後の事業展開

- 高齢化社会及び生活の利便性迫及による運動不足の日常化等の中で、スポーツによる健康維持管理増進意識は高まりつつある。これに応えるため、社会体育施設の整備を積極的に進める。
- 緑が丘スポーツ公園にかかる改修は、施設使用料収入に見合ったものに努め、改修後には、当該施設の使用料見直しを行う。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23～25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
施設利用件数の増加率(%) <small>(当年延べ利用件数/前年度延べ利用件数)</small>	-7.06	15.79	15.79	15.79	15.79	15.79	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)		計画額合計 (H23～25)		
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	66,308		67,073	66,707	66,707	200,487	

6 文化・芸術

施策の基本的考え方

- 文化・芸術活動の振興を図るため、生涯教育推進プロジェクトにより、市民が優れた文化・芸術に接する機会の提供や創作活動の場の拡充に努めます。
- 本市に存在する指定*及び登録文化財*の保護・保存と啓発・普及に努めるとともに、未指定文化財についても調査・研究を行います。また、史跡公園の計画的な整備等を行い、文化財の保存・活用を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
文化・芸術 06	01 文化・芸術活動の振興	01 文化振興基金事業
	02 文化財の保護と活用	01 史跡武田氏館跡整備事業

01 文化・芸術活動の振興

■文化振興基金事業 【事業No.02060101】	担当部課係名	教育部	文化振興課	ダイヤル	223-7324
			文化芸術係		

事業概要

- 市民に良質な芸術を提供することにより文化芸術の普及と振興を図り、市民個々の豊かな創造性や人間性の形成に資する。

現況と課題

- 現在の経済情勢下では、金利が回復する見込みが見られないため、事業の規模を維持していくことが課題である。

今後の事業展開

- 市民の文化的意識を高め、情緒ある日常生活を過ごしてもらうためには、市民参加型の芸術性豊かな質の高い内容を提供することが求められるところであるが、一般財源も含めた室全体の計画である「生涯教育推進プロジェクト」により類似事業の統合など効率的な事業展開を行っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
事業の参加者数 (入場者・出演者)(人)	20,084	25,000	25,000	25,000	25,000				75,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)			
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度				
	21,976		21,315	21,696	21,496	64,507			

02 文化財の保護と活用

■史跡武田氏館跡整備事業 【事業No.02060201】	担当部課係名	教育部	文化振興課	ダイヤル	223-7324
			文化財係		

事業概要

- 戦国大名居館と城下町の遺構が良好な状態で残っている武田氏館跡とその周辺一帯を開発から守り、生きた歴史に触れ、遺跡を含む自然環境の中で学べる野外の博物館とする。また学校教育や生涯学習の場として、さらには散策憩いの場として大いに活用出来る史跡公園として整備する。

現況と課題

- 整備をするにあたって公有地化を随時進めているが、公有地化においては土地所有者の理解と協力が必要であるため、計画的な買収が困難な状況である。また、館の中心部分は宗教的施設である神社となっているため、史跡整備との調和を図ることが課題である。
- 県内市町村の国庫補助事業に係る山梨県文化財補助金は、これまで国庫補助残の二分の一の額が確保されてきたが、平成23年度から県補助額に上限が設定されてしまったため、市単部分の増加が見込まれる。

今後の事業展開

- 県都甲府市の原点である武田氏館跡の整備を実施することは、甲府市は言うに及ばず戦国時代の日本を代表する歴史遺産を守り伝えるとともに、歴史教育や観光面等において有効な活用を図るものであり、発掘調査の成果を生かした最も効果的な整備方法や活用方法を検討しながら事業の推進を図っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
史跡整備面積 (㎡)	2,000	1,900	500	3,000	3,000				6,500
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)			
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度				
	87,294		93,365	109,425	109,425	312,215			

7 青少年

施策の基本的考え方

- 青少年の健全な育成を図るため、有害環境浄化活動*の推進、総合育成体制の整備、家庭環境の重要性の啓発などに努めます。
- 青少年施設の整備と活用を図りながら、青少年ジュニアリーダー*の育成や子どもクラブ*など少年団体の活動を促進し、自主性の高揚と社会的認識の向上を図ります。
- 青少年の健全な育成を図るため、青少年非行防止活動の推進、青少年育成センターの充実・強化を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
青少年 07	01 生活環境の浄化	
	02 自主的活動の推進	
	03 保護体制の強化	

8 男女共同参画

施策の基本的考え方

- 「甲府市男女共同参画推進条例」を基調に「甲府市男女共同参画センター」を活用しながら、女性団体間の交流促進などを行います。また「女性総合相談室*」の相談業務の充実を図り、より一層の男女共同参画の推進に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
男女共同参画 08	01 こうふ男女共同参画プランの推進	01 男女共同参画推進事業

01 こうふ男女共同参画プランの推進

■男女共同参画推進事業（特別職給与を含む） 【事業No.02080101】	担当部課係名	市民生活部	人権・男女共同参画課	ダイヤル	237-5209
			男女共同参画係		

事業概要

- 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって職場、学校、地域、家庭、その他のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担う生き生きとした、豊で活力ある「男女共同参画社会」を実現する。

現況と課題

- 男女共同参画社会づくりを地域等に定着させるために、市民と行政が連携して男女共同参画施策を、具体的に推進できるシステムづくりが必要である。

今後の事業展開

- 男女共同参画社会実現に向け、「甲府市男女共同参画推進条例」に基づき、「第2次こうふ男女共同参画プラン」を継続推進する。平成20年度に設立された「甲府市男女共同参画推進委員会」を「第2次こうふ男女共同参画プラン」推進のために更に充実強化する。

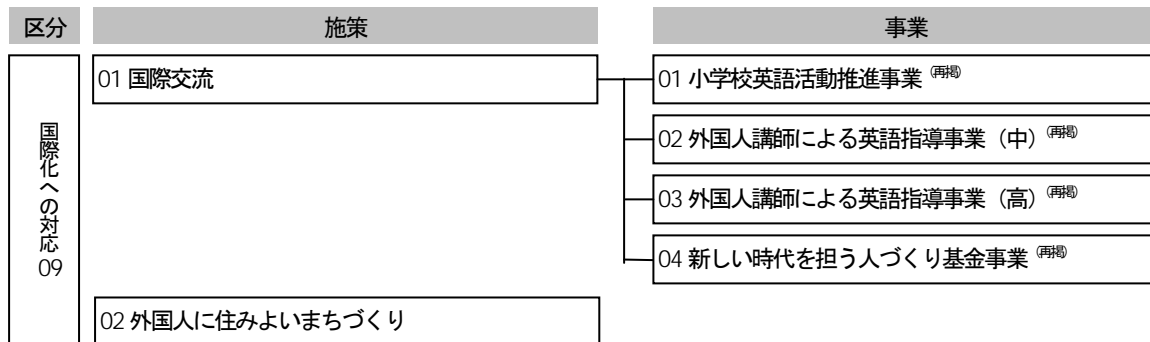
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23～25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
「第2次こうふ男女共同参画プラン」推進関連事業数	62	70	70	70	70	70
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	6,988		7,618	7,037	7,037	

9 国際化への対応

施策の基本的考え方

- 姉妹友好都市のみならず、姉妹友好都市以外の都市などとも、21世紀の国際化時代に対応した新たな友好交流を推進します。
- 外国人に住みよいまちづくりを行うため、生活情報の提供、相談業務の充実、庁内体制の充実、地域活動の推進などに努めます。

施策・事業の体系



01 国際交流

■小学校英語活動推進事業 【事業No.02090101←No.02010201】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321
■外国人講師による英語指導事業（中学校） 【事業No.02090102←No.02010202】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321
■外国人講師による英語指導事業（高等学校） 【事業No.02090103←No.02020101】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321
■新しい時代を担う人づくり基金事業 【事業No.02090104←No.02010301】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤル	223-7321